

第2回新型コロナウイルス感染症対策特別委員会



新型コロナウイルス感染症対策特別委員会は、新型コロナウイルス感染症対策に関して総合的な取り組みや対策などについて調査研究することを目的として設置された特別委員会です。

6月1日に開催した第1回委員会では、どのような項目について重点的かつ優先的に調査研究するべきかについて協議を行いました。

6月12日に開催した第2回委員会では、議会および市の取り組みを市民に広く周知するため議場で開催し、CNS（ケーブルテレビ）による中継も行いました。はじめに対策の現状について、課題をより明らかにするため、各委員から執行部に対して質問を行った後、調査項目および方向性を決定しました。

当日の録画映像は、議会ホームページ「本会議等録画中継」から視聴できます。ぜひご覧ください。



特別委員会質疑（要旨）

各委員から、質問内容が重複しないようにテーマを割り振った上で質問を行いました。

1 新型コロナウイルス感染症対策の取り組みについて

【質問】 緊急事態宣言の解除により、社会経済活動が徐々に再開されてきた。今後の中長期的な対策と展望について問う。

【答弁】 第2波、第3波の感染拡大も懸念されているため、国が新型コロナウイルス感染症緊急経済対策で示す4つのフェーズである「1 感染拡大の防止」、「2 雇用の維持と事業の継続」、「3 経済活動の回復」、「4 強靱な経済活動の構築」の段階に応じて、迅速かつ効果的に対策を進めていく。

【質問】 施策の財源となる基金の積み立てなど、財政的な政策について問う。

【答弁】 本市ではこれまで、国・県支出金を活用しながら、財政調整基金からの繰入れによって対応してきた。今後は、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用を図るとともに、新たに新型コロナウイルス感染症対策支援寄附金の受領を開始し、新型コロナウ

イルス感染症対策基金に寄附金を積み立て、感染症対策の財源としていく。

【質問】 消毒液など消耗品の備蓄としてのローリングストック（※）に、どのように取り組んでいくのか。

※使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量を備蓄しておく方法のこと。

【答弁】 各施設の入口などに設置しているアルコール消毒液やマスク、フェイスガードなどの感染予防対策用品のほか、トイレトーパーなどの衛生用品についても、ストックするスペースや使用期限などに配慮して、適切に購入していく。

その他の質問 ○公共施設（市役所関係・学校施設）などにおける消毒、検温、血中濃度測定などの対応について